

◎2022年4月頃からGmailのセキュリティが変更になり、

Gmailへのメールが届かない状況が出てきている。

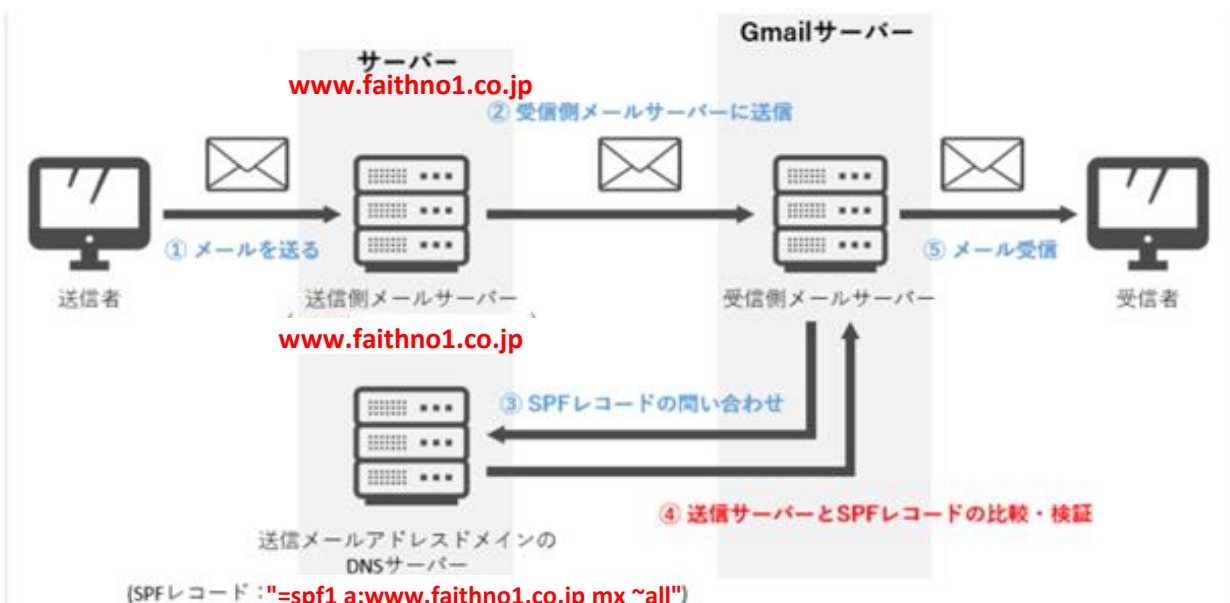
- ・「なりすましメール」へのセキュリティの強化が主な原因。
- ・下記メールがエラーとなっていてくれば、SPFが原因の可能性大。

```
-----Original Message-----
From: Mail Delivery Subsystem
Sent: 
To: 
Subject: Returned mail: see transcript for details
The original message was received at [redacted] from
[redacted]
----- The following addresses had permanent fatal errors -----
受信拒否された送信先メールアドレス
(reason: 550-5.7.26 This message does not have authentication information or fails to)
----- Transcript of session follows ----- ... while talking to
gmail-smtp-in.l.google.com.:
>>> DATA
<<< 550-5.7.26 This message does not have authentication information or fails to
<<< 550-5.7.26 pass authentication checks. To best protect our users from spam, the
<<< 550-5.7.26 message has been blocked. Please visit
<<< 550-5.7.26 https://support.google.com/mail/answer/81126#authentication for more
<<< 550 5.7.26 information.
10-20020a63020a000000b003f2470e2702si4273845pgc.594 - gsmt
554 5.0.0 Service unavailable
```

◎SPFレコードとは？

簡単に言うと身分証明書のようなモノ

「Sender Policy Framework」 送信者のドメインの偽称を防ぐためのしくみ  
送信元ドメインのDNSにて設定が出来、設定ドメインがメール送信するサーバーを  
定義することにより、他のサーバーから送信された場合にはなりすましと判別する。  
・なりすましメールの判断を行うのは、受信側のメールサーバー  
送信元メールアドレスドメインのSPFレコードと、実際にメール送信を実施した  
サーバー情報を見比べることで「なりすましメール」かどうかを判断する。



※Gmailへの送信にて受信拒否されている場合には、送信ドメインDNSにSPFレコードが無い場合や、間違っている場合が考えられる。

## ◎実際の対応方法

- ①SPFレコードの確認
- ②SPFレコードの設定

### ①SPFレコードの確認方法

※確認するメールアドレスのドメインが指定しているネームサーバー上のDNSを確認する

1：ドメインを管理しているところに確認する必要アリ。

2：不明な場合には、web上で確認出来るサイトがいくつかアリ。

「DNSチェック」 ドメインを入れる（当社ならfaithno1.co.jp）と  
text=の後ろの部分 ”と”の間がSPFレコードとなる。

※サーバー（Zenlogic等）によっては、TXTレコードも登録されていない  
場合もアリ。その場合には、「DNSチェック」でtext=が出てこない。

### ②SPFレコードの設定

※送信元となるメールアドレスを運用しているDNSサーバーで行う。

「〇〇〇〇@xxx.jp」の場合、xxx.jpを管理している会社  
サーバーのコントロールパネル等にアクセス出来るのであれば、自身で可能。  
アクセス出来ないのであれば、ネームサーバー運営会社に依頼する。

「SPF record check」で出来ているかの確認可能。

このサイトで、上記で確認したSPFレコードが同一かどうかで確認可能。

※Gmailへ転送している場合。送信元のメールアドレスと転送用のメールアドレスが別の  
時には届かなくなることがある。転送用のSPFレコードを追記することで送れるようになる。

※送信したメールがなりすましと判定される回数が増えると、自分のIPアドレスが汚染され、  
通常では届くメールも届かなくなったり、迷惑メールフォルダに入ってしまったたりする。  
こういったことも含め、SPFレコードを登録したから絶対に送信できるかは断言出来ない。

※クラウド型のメール配信サービスを利用している場合には、仕組み上、「送信メールの  
ドメイン」と実際に「送信するサーバーのドメイン」が異なる為SPFレコード登録は必須！